

	<h2>パリ 2024 パラリンピックメダリストへの 練馬区民栄誉賞授与を決定！</h2>
と き	10月8日（火）発表
と ころ	練馬区役所（練馬区豊玉北6-12-1）
<p>区は、8日、パリ2024パラリンピックで金メダルを獲得した練馬区在住の2選手に練馬区民栄誉賞を授与することとした。</p> <p>受賞者は、水泳男子50m自由形・100mバタフライで金メダルを獲得した木村敬一選手、ゴールボール男子で金メダルを獲得した宮食行次選手の2名。</p> <p>10月28日（月）に、練馬区長から2選手に表彰状と副賞の贈呈を行う。</p>	

【受賞者プロフィール】

① 木村 敬一（きむら けいいち）選手

水泳／【パリパラリンピック・水泳男子50m自由形・100mバタフライ「金」】



10歳から水泳を始め、筑波大学付属盲学校（現・筑波大学付属視覚特別支援学校）では水泳部に所属。パラリンピックには2008年の北京大会から5大会連続出場。ロンドン大会（2012）では、銀1個、銅1個。リオ大会（2016）では、銀2個、銅2個。東京大会（2021）では金1個、銀1個と、この度のパリ大会を含め10個のメダルを獲得。現在は、東京ガス株式会社に在籍、慶應義塾大学非常勤講師も務めている。

② 宮食 行次（みやじき こうじ）選手

ゴールボール／【パリパラリンピック・ゴールボール男子「金」】



小・中は野球部、高校ではソフトボール部に所属。2017年、大阪府立大阪北視覚支援学校でマッサージ師の勉強をしていたときに、日本ゴールボール協会が主催する人材発掘プロジェクトでゴールボールに出会う。22歳で上京して本格的に競技をスタート。現在は、株式会社コロプラに在籍。長身と身体能力を武器に急成長を遂げ、競技歴わずか1年半で強化指定選手に選ばれる。

【練馬区民栄誉賞】

スポーツ、芸術および学術等の分野において、特に顕著な業績を挙げ、広く区民に敬愛され、社会に希望と活力を与え、練馬区の名を高めた者を顕彰することとしている。

【問合せ】

[区民栄誉賞に関すること] 練馬区総務課総務係

電話 03-5984-2600

[区のスポーツ施策に関すること]

練馬区スポーツ振興課事業係

電話 03-5984-1947